

2023年度 予算のお知らせ

2023年2月10日に開催された第21回組合会において、マクニカ健康保険組合の2023年度予算が承認されました。予算と事業計画の概要をお知らせします。



一般勘定

健康保険料率 8.2% (千分の82) ※2023年度より1%引き上げ。

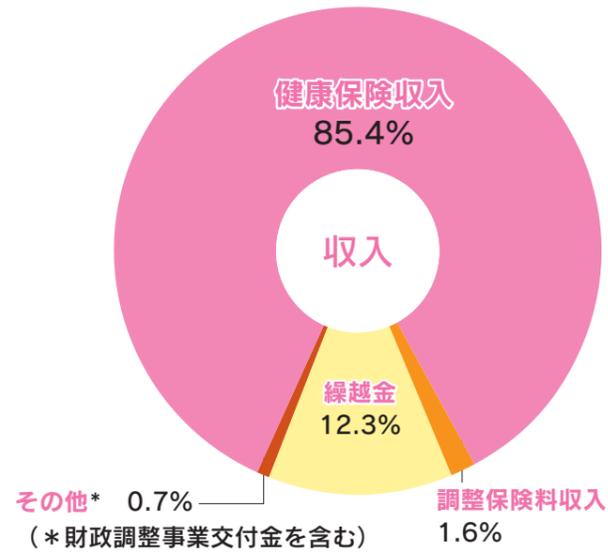
予算の概要

保険料率は昨年度より引き上げました。
2023年度の予算規模は19億3,778万円となりました。収入支出予算の概要については以下のとおりです。

2023年度収入支出予算概要表(一般勘定)

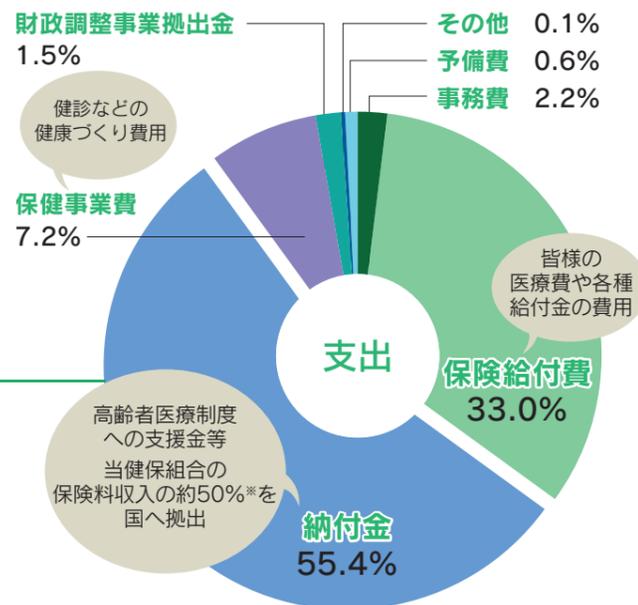
収入

科目	予算額(千円)
健康保険収入(A)	1,655,356
調整保険料収入	30,253
繰越金	238,795
財政調整事業交付金	4,000
その他	9,372
合計	1,937,776



支出

科目	予算額(千円)
事務費	42,198
保険給付費	639,348
納付金(B)	1,073,012
保健事業費	139,251
財政調整事業拠出金	30,253
その他	933
予備費	12,781
合計	1,937,776



納付金内訳(千円)

前期高齢者納付金	575,000
後期高齢者支援金	498,000
病床転換支援金	1
退職者給付拠出金	11

経常収支差引額 △230,226千円

※納付金(B) 1,073,012千円 ÷ 保険料収入(A) 1,655,356千円 = 65%

2023年度保健事業について

(1) 健診補助金制度

加入者(被保険者および被扶養者)を対象にした、基本健診、生活習慣病予防健診、人間ドック、脳ドック、乳がん検診、子宮がん検診に対し、補助金を支給します。

現在、ご家族(年度末で20歳以上となる被扶養者)の受診予約には個別のID・パスワードが必要となっています。また、脳ドックについてはMRI、MRA、CT検査の場合に限り、補助金を支給します。

※詳細は健保HP「お知らせ」等をご覧ください。

■ 健診補助金の概要

(金額は税込)

健診の種類	対象者	健保補助限度額	
		契約先病院での受診	契約外病院での受診
基本健診	30歳未満の加入者 ^{※1}	全額補助	10,000円
生活習慣病予防健診	30歳以上の被保険者	全額補助	25,000円
	30歳以上の被扶養者		20,000円
人間ドック ^{※2}	35歳以上の加入者	70,000円	
脳ドック ^{※3}		15,000円	
乳がん検診 ^{※4}	20歳以上の加入者	全額補助	
子宮がん検診			

※1 被扶養者は20歳～29歳が補助対象。

※2 オプションを含む。

※3 人間ドックと合わせて受診の場合、補助金限度額の合算額(85,000円)までの実費分を支給。

※4 乳がん検診(マンモグラフィー)について、2方向に加え、3Dマンモグラフィーを補助金支給対象とします。

(2) インフルエンザ予防接種費用補助を行います。

【補助額】5,000円(税込) ※対象者：加入者
原則、電子申請を利用してください。

電子申請へ



(3) 特定健診・特定保健指導を実施します。

40歳以上の加入者を対象に特定健診を実施します。健診結果を階層化し、いわゆるメタボリックシンドローム対象者の方へ、動機づけ支援・積極的支援の特定保健指導を実施します。

(4) 「健康相談サービス」の提供を継続します。

引き続き、セカンドオピニオン・サービス、生活習慣病受診サポート・サービス、二次検診機関の手配・紹介サービス等を提供します。4月より、英語・中国語でも対応しています。

また、相談受付の手段として、電話などに加え、オンライン面談が利用できます。

(5) 「歯科健診」を実施します。

提携先医院、および提携外医院での受診費用への補助金支給を継続します。
事業所での集団健診はコロナ禍の状況を勘案し、実施是非を検討します。

介護勘定

介護保険料率 1.79% (千分の17.9)
※2022年度と同率。

予算の概要

保険料率は昨年度と同率に据え置くことといたしました。

2022年度末の介護準備金保有率は125%となる見込みです。

2023年度収入支出予算概要表(介護勘定)

収入

科目	予算額(千円)
介護保険収入	213,729
繰越金	42,710
その他	2
合計	256,441

支出

科目	予算額(千円)
介護納付金	242,000
介護保険料還付金	1
その他	1
予備費	14,439
合計	256,441